

令和5年度 第3回 全中理 開発教材コンテスト 実施要項

- 1 趣 旨
 - ・中学校の理科授業において、創意工夫が見られ、著しい教育効果が期待できる教材の普及を図る。
 - ・理科教育における教員の独創的・創造的な教材開発の資質・能力の育成を図る。
 - ・秀逸な教材を開発した教員にグランプリ、その他の賞を贈呈し、賞賛する。
- 2 期 日 審 査
 - 一次審査 令和5年12月15日(金)～令和6年1月19日(金)
 - 二次審査 令和6年2月15日(木)～令和6年3月26日(火)
 - 審査委員会による書類審査及び対面審査(プレゼン、質疑応答で10分程度)表 彰 令和6年8月8日(木) 全中理山梨大会開会式
- 3 主 催 全国中学校理科教育研究会
- 4 後 援 (公益社団法人)日本理科教育振興協会
- 5 応募数 各都道府県で2点程度。
- 6 応募内容 開発教材及びその解説 「申込書」「応募の概要」「添付資料(A4で3枚以内)」
*既存の教材でも、独創的な工夫や創造的な付加価値があれば可。ただし、すでに他のコンテスト等での受賞した教材は不可。
- 7 各 賞 グランプリ(全中理会長・日本理振協会会長賞)
ヤガミ賞、ケニス賞、島津理化賞、ナリカ賞、内田洋行賞
- 8 賞 品 デジタル顕微鏡、プログラミング教材等
- 9 応募方法 全中理HPより、「令和5年度第3回全中理開発教材コンテスト」の実施要項にしたがって所定様式の「申込書」、「応募作品の概要」をダウンロード、期限までにWebにより送付。また、詳細等の提示のための「3枚以内の添付資料(教材写真、使い方解説等)PDF形式」については任意です。
- 10 受付期間 令和5年11月2日(木)「申込書(エントリーシート)」必着
令和5年12月1日(金)「応募の概要」「添付資料(A4で3枚以内)」必着
- 11 審査方法 「申込書」「応募の概要」「添付書類」により一次書類審査→その段階でグランプリ候補教材を数点に絞る。その後、二次審査では、一次書類審査と併せてオンラインでの対面審査(プレゼン、質疑応答で10分程度)を行う。
*原則、Webによる書類・対面審査等で各賞を決定する。教材実物及び撮影動画等の提出については事前相談とする。
- 12 審査基準
 - ・ねらいの明確さ(何のために使用するのかが明確になっているか)
 - ・教育効果の期待度(生徒の理解度・課題への達成度・興味関心の高さ)
 - ・オリジナル・独創性(教材に教師のオリジナル性を感じるか)
 - ・汎用性(多くの先生にとって使用しやすい教材となっているか)
- 13 発 表 令和6年5月に表彰する教材を審査委員会で決定し、各賞受賞者への発表は、令和6年度期首役員会確認後、都道府県理事より行う。また、全中理指導資料集及び全中理HPに掲載する。
- 14 送付先 東京学芸大学附属世田谷中学校 教諭 高田 太樹
TEL 03-5706-3301 FAX 03-5706-3340
E-mail kyozai-contest@zenchuri.net